

10月24・25日

## 建物完成見学会開催のご案内

「多摩市東寺方 東京の気候と仲良く暮らす家」

### 見直そう現代の住宅づくり

コストのかかる設備をしなくてもしっかりした  
建物をつくれば、無理のない自然なエコ住宅はできます。

日本の家づくりは、夏を旨とし高温多湿な気候風土に合わせて考えられてきました。このような伝統技術と現代文化のよいところを組み合わせることで、**自然なエコ住宅**はできます。

**無駄な電気・ガス等を使わなくて済む家を造ることこそエコ住宅**といえます。

以前、流行ったセントラルヒーティングは、10数年経過して壊れてしまい、高い修繕費がかかるため、直さずにエアコン等に切り替えてしまったことがよくありました。

同じように、太陽光発電・オール電化・ガス発電などコストのかかる設備は、長期間メンテナンスなしでは済まないうえに、いずれ壊れ、高額な修繕費もかかるのです。

現在では、技術の進歩によりエアコンの省エネ機能向上や浴槽のお湯の保温時間が長くなったり、節水型便器で使う水の量も相当少なくなっていますし、その他の設備も進歩しています。

設備にも寿命がありますので、まず、しっかりした構造、性能の建物を造りその時代の進歩した省エネ技術の設備を取り入れた建物こそ、次世代にもメッセージが残せる**ハイブリットハウス**であり**エコ住宅**なのではないでしょうか。

今回ご覧いただく住宅は日本の建築技術・伝統を引き継いだ職人さんたちで作りあげた住宅です。

是非ともご覧になってください。**違いがわかります。**